

科目名 (科目番号)	病理検査学実習 (102103)	教員名	当銘 良也 伊藤 慶 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	病理診断検査に必要な標本作製技術を中心に、実技、顕微鏡での観察やスケッチを通して知識や技術を習得する。日常の病理検査で用いられる特殊染色法や組織化学染色法を習得する。この実習により多種多様な染色の原理、手技、および染色意義を学ぶことができる。また、この実習は臨地実習のための準備実習であり、正確な技術はもちろん積極的な実習態度を身に着けることができる。さらに学生同士が情報を共有しながら学生主体で実習を進行することができる。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	切りだし・包埋	到達目標: 切り出し、パラフィン浸透、包埋手順を理解する。 学習内容: 切り出し、パラフィン浸透、包埋手順を学習する					
	2	薄切、凍結切片作製、ヘマトキシリン液の作製	到達目標: 薄切、凍結切片作製、ヘマトキシリン液作製の基本操作を理解する。 学習内容: 薄切、凍結切片作製、ヘマトキシリン液作製の基本操作を学習する。					
	3	薄切、凍結切片作製、ヘマトキシリン液の作製	到達目標: 薄切、凍結切片作製、ヘマトキシリン液作製の基本操作を理解する。 学習内容: 薄切、凍結切片作製、ヘマトキシリン液作製の基本操作を学習する。					
	4	HE染色	到達目標: HE染色の原理、染色手順、染色性を理解する。 学習内容: HE染色の原理、染色手順、染色性を学習する。					
	5	多糖類染色	到達目標: PAS反応、アルシアン青染色の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: 多糖類染色の原理、手順、染色性を学習する。					
	6	神経線維染色	到達目標: クリュパー・バレラ、PTAH染色の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: 神経線維染色の原理、手順、染色性を学習する。					
	7	内分泌染色	到達目標: グリメリウス法、マッソン・フォンタナ法の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: 内分泌染色の原理、手順、染色性を学習する。					
	8	結合組織染色	到達目標: アザン染色、EVG染色の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: 結合組織染色の原理、手順、染色性を理解する。					
	9	細網線維染色、基底膜染色	到達目標: 渡辺の鍍銀法、PAM染色の原理、手順、染色性を理解する 学習内容: 細網線維染色、基底膜染色の原理、手順、染色性を学習する					
	10	アミロイド染色、ミネラル染色、脂肪染色	到達目標: コンゴ赤、ベルリン青、脂肪染色の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: コンゴ赤、ベルリン青、脂肪染色の原理、手順、染色性を学習する。					
	11	組織内病原体染色、異染性染色	到達目標: 真菌染色、抗酸菌染色、異染性染色の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: 真菌染色、抗酸菌染色、異染性染色の原理、手順、染色性を学習する。					
	12	免疫組織化学	到達目標: 高分子ポリマー法で免疫組織化学の原理、手技、染色性を理解する。 学習内容: 高分子ポリマー法で免疫組織化学の原理、手技、染色性を学習する。					
	13	細胞診1(標本作製)	到達目標: 標本作製法、パパニコロウ染色の原理、手順、染色性を理解する。 学習内容: 標本作製法、パパニコロウ染色の原理、手順、染色性を学習する。					
	14	細胞診2(婦人科)	到達目標: 婦人科領域の良性細胞、代表的な病変細胞の特徴を理解する。 学習内容: 婦人科領域の良性細胞、代表的な病変細胞の特徴を学習する。					
15	細胞診3(呼吸器その他)	到達目標: 呼吸器、乳腺、体腔液などの代表的な細胞の特徴を理解する。 学習内容: 呼吸器、乳腺、体腔液などの代表的な細胞の特徴を学習する。						
成績評価の方法・基準	試験(70%) + レポート(30%)							
教科書	最新臨床検査講座 病理学/病理検査学	松原修、丸山隆、中田穂出美他			医歯薬出版			
参考図書	最新染色法のすべて 基礎病理技術学	水口 國雄 編 NPO法人病理技術研究会			医歯薬出版 笹氣出版			
教員からのメッセージ	講義資料をしっかりと予習して実習に臨むこと。 レポートはコメントを付して返却します。							